

令和8年度 事業計画書

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
障害者支援センター

目 次

障害者支援センター事業方針	1
1 障害児地域訓練会運営費助成事業	3
2 障害者地域活動ホーム事業	4
3 地域活動支援センター事業障害者地域作業所型運営費等助成事業	6
4 地域活動支援センター事業精神障害者地域作業所型助成事業	8
5 販路拡大事業	9
6 在宅障害児者家庭援護事業	10
7 研修事業	10
8 障害者福祉団体活動支援事業	10
9 地域活動支援事業	11
10 療育交流活動事業	12
11 啓発活動事業	12
12 調査研究事業	13
13 障害者人権擁護事業	13
14 障害者地域作業所等賠償責任保険	14
15 「セイフティネットプロジェクト横浜」支援事業	15
16 障害者団体部会	16
17 福祉バス運行事業	16
18 助成団体監査事業	17
19 障害者後見的支援制度	18
20 よこはま障害者共同受注総合センター事業	19
21 移動情報センター運営事業	19
22 横浜あゆみ荘事業	20
障害者支援センター予算一覧	21

令和8年度 障害者支援センター 事業方針

誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会の実現に向けて、当事者・家族・支援者の支援を進めていきます。

地域づくりで重要な障害理解の推進については、「支援する人・支援される人」の区別なく、誰もが主役となって、ご自身の思いが伝わる発信・啓発ができるよう、関係団体や各区社協、地域ケアプラザ、あんしんセンター等の本会各部署との連携を深め、様々な事業を進めます。

【令和8年度の重点取組】

1 地域における障害理解の推進

子育て体験共有事業や当事者発・地域啓発支援事業では、地域団体等が行う障害理解に関する研修会等へ障害当事者・家族を講師として紹介します。セイフティネットプロジェクト横浜支援事業では、地域における日常的なつながりを通じた支えあいを目指し、地域防災拠点での出前講座を各地域の希望に応じた形で行います。更に、障害者団体部会では、障害理解啓発サイト「With Me」にて障害当事者や家族など部会員からの発信を行います。これらの障害当事者が主体となった発信・啓発を行う事業により、地域の中での障害当事者の生活についての啓発活動を促進します。

区社協へ委託している移動情報センター事業では、地域と連携したガイドボランティアの発掘・コーディネート等を通じた地域と当事者・家族とのつながりづくりや障害に関する理解が進むよう、区社協と連携して取り組みます。併せて、地域活動部市民活動支援課と連携し、相談窓口となる区社協の移動情報センターとボランティアセンターのコーディネーター育成に取り組みます。

2 当事者の地域生活を支える団体・事業所の支援

障害者支援センターが助成金交付と併せ支援を行っている団体・事業所は、地域の中で当事者が生活をしていくため、当事者・家族が立ち上げたグループホームや作業所型など規模が小さい団体・事業所が主な対象となっています。そのため、必要な研修の実施や連絡会の開催、運営委員会への参画など支援センター事業を通じた支援を行っていきます。

機能強化型地域活動ホームにおいては、地域生活支援拠点としての役割を推進するにあたり、横浜市が開催する運営検討会で引き続き市及び関係団体と検討していきます。

従来行っていた監査業務のうち、作業所型及び機能強化型活動ホーム監査業務については補助業務から委託業務に移行します。外部監査員との協働で実施水準を確保しつつ、委託化により実施主体の整理、事務の効率化、横浜市との情報共有と活用を進めることで、これまで同様、事業所及び助成団体への適正運営を支えます。

3 障害者後見的支援制度の推進

本会は、障害者後見的支援推進法人として、各区の障害者後見的支援運営法人と協働し、障害者が地域で安心して暮らすために必要な身近な見守りや本人の希望と目標に基づく支援等を行っています。

令和8年度は、引き続き関係機関・家族会・地域住民への制度周知や情報提供を行うことで、登録者及びあんしんキーパーの拡大に努めます。また、今後も地域情報を把握している区社協や地域ケアプラザとの連携を強化するとともに、支援室スタッフ向け研修等を実施し、登録者一人ひとりの希望に基づいた身近な見守り体制づくりに取り組みます。

併せて、横浜生活あんしんセンター等と連携し、成年後見制度の利用に向け、登録者及び家族に寄り添った情報提供等を行うなど権利擁護の推進を図ります。

4 横浜あゆみ荘事業の推進

令和8年度は第5期指定管理期間の初年度となります。引き続き、障害児者やその家族が安心して安全に利用できる施設運営を柱に取り組みます。「障害のある人への合理的配慮の提供」を念頭に、個別の障害の状況に応じたきめ細やかな対応を行い、利用者満足度の更なる向上、利用者数の更なる増加につなげていきます。

併せて、障害児者の余暇活動、障害の普及啓発を目的とした自主企画事業を開催し、地域貢献に取り組みます。

5 よこはま障害者共同受注総合センター（わーくる）運営事業の推進

わーくるでは、仕事を発注したい依頼者（民間企業、地域団体、行政機関等）からの相談に応じ、依頼内容や単価設定等に関する説明等の丁寧な調整を行う事で、障害者の就労やその活動に対する理解促進を行います。

わーくるが調整を行うことで、依頼者と受注する事業所の考え方のズレがなくなりお互いWin-Winの関係構築を支援し、継続的なつながりづくりにつなげます。

令和8年度は、事業所同士の連携や民間企業との協働をさらに推し進めることで更なる受注機会の増加やそれによる登録事業者数の増加を目指します。

これら重点取組の円滑な推進のため、他部署との連携・調整による効果的・効率的な事業実施、ICT活用による事務負担の軽減や事務処理ミス等の削減などに取り組みます。各種団体・事業所や関係機関等との協働・協力にあたっては、密にコミュニケーションを取ることで、互いに安心して意見を出し合い、支え合える組織風土を醸成していきます。

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
1 障害児地域訓練会運営費助成事業	71,648	73,996	△2,348

(市補助金)

(事業目的)

障害児の保育やグループ活動、親の学習、地域に対する啓発・交流活動を行っている障害児地域訓練会等に運営費を助成します。

1 障害児地域訓練会運営費 44,660千円

《助成基準及び団体数》

助成基準額	ランク	助成基準			団体数	予算額	
		回数	人数	助成額			
助成基準額	A	週1回	2～6人	770千円	1	770千円	※1
	B		7人～13人	940千円	17	15,980千円	
	C		14人～20人	1,070千円	7	7,490千円	
	D		21人以上	1,210千円	6	7,260千円	
	E	週2回	2～6人	1,020千円	1	1,020千円	※1
	F		7人～13人	1,480千円	6	8,880千円	
	G		14人～20人	1,610千円	1	1,610千円	
	H		7人～13人	480千円	1	480千円	※2
	I	月2回	14人～20人	550千円	1	550千円	※2
	J		21人以上	620千円	1	620千円	※2
	計				42	44,660千円	
基準	1 障害児(幼児)が2人以上参加又は障害児(幼児・学齢児)が7人以上参加 2 週1回以上の活動の継続実施(学齢児を含む訓練会は月2回以上) 3 協力者がいること 4 3か月以上継続して実施すること						
助成対象経費	人件費、会場費、教材費、その他運営に要する経費とする。						

※1…幼児のみの訓練会が対象

※2…学齢児を含む訓練会が対象

※1、2共に令和6年度から新たに設けた助成基準

2 障害児の子育て体験共有事業費 336千円

社会参加の機会の少ない障害児の保護者・家族や支援者等を対象に、障害児地域訓練会等で活動している会員で特に経験豊富な者を援助者として登録・派遣し、講話や助言を行うことにより、子育てや生活の不安解消に努めることを目的とします。

3 人件費 21,770千円

4 事務費 4,882千円

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
2 障害者地域活動ホーム事業	593,507	541,753	51,754

(市補助金)

(事業目的)

障害児者及びその家族の地域活動の拠点である「障害者地域活動ホーム」の運営や事業の実施に必要な経費の助成を行うとともに、施設の保守点検などの維持管理を行います。

1 地域活動ホーム助成事業 合計 403,302千円

(1) 機能強化型活動ホーム 23か所 398,212千円

項目/助成単価	予算額(千円)	説明
基本運営費 9,233,087円/1か所	221,753	拠点施設としての 人件費及び施設運営にかかる管理費などを助成
重度重複障害者加算 @10,420-4,500=5,920/1日	0	重度重複障害者の地域活動支援センターデイサービス型利用契約がある活動ホームに対し、該当者の利用実績により日中活動費への加算を助成
生活支援事業	98,459	
ショートステイ 25,000円/回	26,718	緊急時やレスパイトのために行う宿泊のケア活動へ要する経費助成
一時ケア 5,200円/回	31,702	一時的なケア活動に要する経費助成
余暇活動支援 12,500円/回	14,403	障害者の余暇活動支援に要する経費助成
おもちゃ文庫 16,850円/回	25,636	遊びを通じて障害児の発育等を支援する事業の経費助成
生活支援基本事業 @6,000千円/年	78,000	運営法人が統合し、生活支援機能を拡充するための人件費等助成(13箇所)
合計	398,212	

(2) 共通経費 23か所 5,090千円

項目/助成単価	予算額(千円)	説明
地域交流活動費 年額100,000円/か所	2,300	地域交流事業に係る経費の助成
高層加算	2,790	
高層加算単独 年額750,000円/か所	2,250	昇降機設置施設への運営費加算 [たんまち、西区、ふたまたがわ]
高層加算複合 年額270,000円/か所	540	昇降機設置施設(地域ケアプラザ併設)への運営費加算 [シーサイド、えだ]
水道料金補助	0	水道料金減免制度の改定に伴う差額補助
合計	5,090	

2 地域活動ホーム維持管理費 合計 152,188千円

項目	予算額(千円)	説明
補修費	93,549	活動ホーム23か所の補修費・大規模改修
設備更新費	45,000	老朽化した消防設備・空調機の更新他
保守点検費・保険料	11,618	各種設備の保守点検、火災保険料等
災害対策費	2,021	災害時応急備蓄物資の更新
合計	152,188	

3 人件費 35,416千円

4 事務費 2,601千円

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
3 地域活動支援センター事業 障害者地域作業所型運営費等助成事業	1,725,273	1,667,029	58,244

(市補助金)

(事業目的)			
障害者が地域の協力を得ながら、軽作業等のさまざまな活動を通じて社会参加することを目的として活動している地域活動支援センター事業障害者地域作業所型に運営費等を助成します。			
1 運営費	1,287,510千円		
(1) 助成額	《助成基準》		
通所者数	助成額(年額)	通所者数	10人以上
10人	14,420千円	実施日数	週5日以上
11～19人	11人以降 1人545千円加算	交付対象	各法人
20人以上	19,870千円	助成額	4月1日及び10月1日現在の通所者数で積算
(2) 対象団体数	75か所 (前年度:74か所) 対象経費 管理費、人件費、事業費		
2 特別介助加算	18,480千円		
(1) 助成額	1人あたり月額22,000円		
ア 対象者	重度の知的障害(A1又はA2)と重度の身体障害(1級又は2級)が重複する通所者およびそれと同等と市長が認めた通所者。		
イ 助成方法	4月1日及び10月1日現在の通所数の状態に応じ積算し、運営費に加算する。		
(2) 対象者数	84人		
3 介助加算	61,740千円		
(1) 助成額	1人あたり月額9,800円		
ア 対象者	重度の知的障害(A1又はA2)又は重度の身体障害(1級又は2級)の通所者。		
イ 助成方法	特別介助加算と同様		
(2) 対象者数	630人		
4 借地借家費	271,880千円		
(1) 助成額	50千円までは全額、超過分の4分の3を助成する。(助成限度額 425千円/月)		
(2) 対象団体	75か所		
(3) 対象経費	家賃、地代、駐車場代(対象車両:送迎用・製品等運搬用・事務連絡用)		
5 技術指導員謝金(自主製品開発・製作支援事業)	2,400千円		
(1) 助成額	1回5千円または10千円。1団体あたり年24回を限度として助成する。		
(2) 対象団体	20か所		
(3) 対象経費	自主製品の開発及び製作を指導できる専門家が作業所において技術指導をした際の謝金		
6 水道料金補助	2,030千円		
(1) 助成額	1人あたり年額1,800円		
(2) 助成方法	4月1日及び10月1日現在の通所数の状態に応じ積算し、運営費に加算する。		
(3) 対象団体	75か所		
7 処遇改善加算	32,904千円		
(1) 助成額	職員1人の場合、月額18,280円、職員2人以上の場合、月額36,560円		
(2) 対象団体	75か所(職員の処遇改善のため賃上げ効果が継続される取り組みを行う事業所)		
(3) 対象経費	賃上げの結果発生した人件費の一部		

7 人件費 45,075千円

8 事務費 3,254千円

■移転予定事業所状況

No.	名称	移転(予定)場所	運営主体
	移転(予定)時期		
1	地域活動支援センター「いなほ」	港南区	一般社団法人 みのりの里
	未定		
2	地域作業所えちご家	中区	NPO法人 新
	未定		

■新設予定事業所状況

No.	名称	移転(予定)場所	運営主体
	移転(予定)時期		
1	未定	都筑区	一般社団法人 伝
	未定		
2	ルミナス金沢	金沢区	NPO法人 ライブアップ金沢
	R8.4.1		

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
4 地域活動支援センター事業 精神障害者地域作業所型助成事業	1,328,502	1,283,634	44,868

(市補助金)

(事業目的)

在宅の精神障害者に対して、地域の実情に応じ通所による創作的活動または生産活動の機会や、社会との交流の促進等の便宜を供与し、障害者などの地域生活支援の促進を図ることを目的に活動している地域活動センター事業精神障害者地域作業所型に運営費等を助成します。

1 運営基本費 1,063,830千円

(1) 助成額

通所者数	助成額(年額)
10人	14,420千円
11～19人	11人以降 1人545千円加算
20人以上	19,870千円

《助成基準》

通所者数	10人以上
実施日数	週5日以上
交付対象	各法人
助成額	2月1日現在の通所者数で積算
対象経費	管理費、人件費、事業費

(2) 対象団体数 61か所

2 365日開所助成費 8,466千円

(1) 助成額

1か所あたり年額1,411,000円

(2) 助成方法

2月1日現在の通所数の状態に応じ積算し、運営費に加算する。

(3) 対象団体

5か所

3 借地・借家費 206,677千円

(1) 助成額

50千円までは全額、超過分の4分の3を助成する。(助成限度額 425千円/月)

(2) 対象団体

59か所

(3) 対象経費

家賃、地代、駐車場代(対象車両:送迎用・製品等運搬用・事務連絡用)

4 自主製品開発・製作支援助成費 600千円

(1) 助成額

1日(4時間以上)10,000円、半日(2時間以上)5,000円 年額120,000円を限度として助成

(2) 対象団体

11か所

(3) 対象経費

自主製品の開発及び製作を指導できる専門家が作業所において技術指導した際の謝金

5 水道料金助成費 1,706千円

(1) 助成額

1人あたり年額1,800円

(2) 助成方法

2月1日現在の通所数の状態に応じ積算し、運営費に加算する。

(3) 対象団体

61か所

6 処遇改善加算 26,762千円

(1) 助成額

職員1人の場合、月額18,280円、職員2人以上の場合、月額36,560円

(2) 助成方法

職員の処遇改善のため賃上げ効果が継続される取り組みを行う事業所

(3) 対象経費

賃上げの結果発生した人件費の一部

7 人件費

18,513千円

8 事務費

1,948千円

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
5 販路拡大事業	5,393	6,251	△ 858

(市補助金、売上金)

(事業目的)

地域活動支援センター事業作業所型等で製作した自主製品を「ハートメイド」の統一ブランドで通信販売するとともに、ふれあいショップやイベント等での展示販売を通じ、製品のPR及び作業所型等の活動を広く市民に紹介します。

また、カタログを広く配布するとともに、ホームページに掲載します。

《通信販売カタログ掲載商品》

商品分類	掲載数	商品分類	掲載数
菓子	113点	織物	23点
工芸品	30点	革製品	21点
家庭雑貨	28点	紙製品	24点
染物、縫製品	45点	アクセリ-、小物	51点
		ギフト商品	13点
		計	348点

《ハートメイド展示販売》

ふれあいショップ	2か所	ばあーすでい(港北)、みなと(西)
横浜あゆみ荘	1か所	売店
ショーケース設置	1か所	区庁舎(戸塚区)
委託販売等	4か所	中区役所別館1階「ナカナ・カフェ」、ほっとらんど、 せやまる・ふれあい館1階「ふわっと」、神奈川県立武道館

《売上実績》

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度見込	R8年度見込
売上個数	8,914個	9,055個	9,733個	9,000個	10,000個
売上高	1,883,846円	1,850,002円	2,256,780円	1,800,000円	2,000,000円

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
6 在宅障害児者家庭援護事業	2,635	2,635	0

(市補助金)

(事業目的)

障害児者のいる家庭の養育や日常の介助を支援する家庭奉仕員を派遣する登録団体(障害児者団体)に対する助成を行うことで、家庭の抱える精神的・身体的負担を軽減します。

また、登録団体の増に向けて、引き続き関係団体等への周知に取り組みます。併せて、家庭奉仕員の活動中の事故等に備え、ボランティア保険に加入します。

(令和8年度見込み)

1 助成単価	800円(1時間)	400円(30分以上1時間未満)
2 活動件数	3,225件	
3 利用団体数	11団体	
4 利用家庭数	41家庭	
5 奉仕員登録数	45人	
6 ボランティア保険料	17円×3,225回	

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
7 研修事業	1,697	1,454	243

(市補助金)

(事業目的)

地域活動支援センター事業作業所型、障害者地域活動ホーム、障害者グループホーム、後見的支援室、障害児地域訓練会等の活動に携わる当事者や家族、関係機関職員等に対し、障害者福祉の総合的な研修を実施します。

《内容及び積算》

研修内容	回数	参加予定者数 (延べ数)
1 職員研修(新人職員向け)	5回	300人
2 職員研修(管理職・中堅職員向け)	2回	100人
3 医療・保健・衛生等研修会	6回	400人
4 当事者向け研修	1回	60人
5 グループホーム連絡会共催研修	1回	100人
6 横浜障害児を守る連絡協議会共催研修	1回	200人
7 障害のある当事者の話を聞く研修	1回	50人
8 コンプライアンス研修	1回	100人
合計	18回	1,310人

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
8 障害者福祉団体活動支援事業	3,000	3,000	0

(市補助金)

(事業目的)

市域の障害児者団体が実施する活動に対し、その事業費の一部を助成します。

- 1 助成基準 当該年度に計画されている事業について、事業費の1/2を上限(400千円以下)として助成。
- 2 助成対象団体 14団体(横浜市内で活動する障害児者団体)

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
9 地域活動支援事業	12,732	12,167	565

(市補助金)

(事業目的)

障害者福祉に関する相談活動及び地域活動支援センター事業作業所等に医師、弁護士、税理士等を派遣し、専門相談を実施するとともに、巡回相談については、地域活動支援センター精神障害者地域作業所型まで拡大して実施します。

また、障害者の地域生活に関する市民の理解を深めるため、当事者・家族等を講師として、地域団体が開催する啓発研修を区社協との協働により推進します。

1 巡回相談 7,300千円

内容	法律、医療、保健、理学療法(PT)、作業療法(OT)、言語聴覚療法(ST)、性教育(心と体の学習)、社会保険、税務、会計、建築、不動産、活動支援、パソコン 等
対象	地域活動支援センター事業作業所型、地域活動支援センター事業精神作業所型、機能強化型、障害者地域活動ホーム、障害者グループホーム、障害児地域訓練会 等

2 訪問健康相談 3,350千円

医療機関	回数	単価	小計
1 横浜療育医療センター	100回	33,500円	3,350,000円
2 ことぶき共同診療所			
3 その他			
対象	地域活動支援センター作業所型、機能強化型障害者地域活動ホーム		

3 グループホーム運営支援 1,692千円

(1) 運営委員会を設置し、運営支援を必要とするグループホームへの職員派遣

支援対象： 運営委員会を設置しているグループホーム

支援内容： ・事業推進会議等への職員派遣(制度・施策に関する情報提供、事務処理に関する相談対応等)
 ・運営委員会への参画、助言(管理職が運営委員会へ参画し、運営全体への助言)
 ・支援センター事業を活用した運営支援(巡回相談、モニター、研修等の活用提案)

(2) グループホーム緊急時支援

運営委員会を設置しているグループホームを対象に緊急時の人的支援と職員等の人材育成にかかる経費の助成

(1) 助成額 1回4時間-4,000円 1回6時間-6,000円 1回8時間-8,000円

(2) 助成対象団体数 94か所

4 当事者発・地域啓発支援 390千円

内容	予算額	説明
1 地域別研修	270,000円	自治会・町内会、地区社協等が主催する障害理解に関する研修会を対象に、講師謝金を助成するとともに、障害当事者・家族を講師として紹介する @5,000×3人×18区×1回
2 公開講座	120,000円	区社協または区社協ブロック圏域毎において、区社協・支援センター共催で公開講座を実施する @5,000×6人×4回
小計	390,000円	

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
10 療育交流活動事業	614	614	0

(市補助金)

(事業目的)

進行性筋萎縮症、筋ジストロフィー症児者に対し、機能回復訓練や相談会を継続的に実施し、健康管理と機能維持を図ります。

- 1 委託団体 神奈川県筋ジストロフィー協会横浜支部
- 2 年間実施予定 音楽療法6回、講演会1回、七宝焼2回、集団指導4回、患者交流会8回

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
11 啓発活動事業	2,566	2,309	257

(市補助金、参加費、基金果実、雑収入)

(事業目的)

障害当事者の思いや障害者支援事業所の活動、障害者支援センターの取組を広く市民等に周知・発信することにより、障害理解を進めます。

- 1 機関紙「お元気ですか」の発行 1,855千円
 関係機関等に対し、障害者支援センターの各種事業や取組・障害児者福祉に関する情報等を周知することで、障害理解を促進します。
 ◆発行：年3回
 ◆部数：各8,500部 点字版・録音版 各110部
 ◆配布先：障害者団体・施設、市内小・中・特別支援学校、保育園、ケアプラザ、区役所、区社協 他
- 2 「感謝の集い」の開催 386千円
 障害者支援センター事業に関わりの深い団体の活動にご協力いただいている個人や団体に対し、感謝を示す機会として、感謝の集いを開催します。
 ◆時期：令和9年2月
 ◆場所：横浜市健康福祉総合センター4階ホール(予定)
- 3 啓発事業の実施 325千円
 本会 障害者団体部会が運営するウェブサイト「障害と福祉のウェブマガジン With Me」を当事者団体等の声を発信する場として活用し、インタビュー記事の掲載などを通して、障害理解の促進を目指した取り組みを行います。
 ・インタビュー記事作成 ￥165,000
 ・ウェブサイト保守費用 ￥137,500
 ・コンテンツ制作相談 ￥22,000

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
12 調査研究事業	708	479	229

(市補助金)

(事業目的)

障害福祉制度や障害者とその家族の地域生活の充実のため、様々なテーマに関する調査や研究を行います。また、障害者とその家族の身近な課題を施策に反映できるよう検討し、行政等に提言していきます。

(調査研究事業概要)

事業名	内容
進路対策研究会	特別支援学校等に在籍する、市内在住生徒の卒業後の進路調査を実施し、統計資料を作成するとともに、卒業後の進路のあり方などについて検討する。
進路対策研究会 重心特別部会	重度重複障害児者の進路実態と日中活動の現状について、共通認識をもちながら、進路と生活を支える支援策を検討する。

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
13 障害者人権擁護事業	2,172	2,767	△595

(市補助金)

(事業目的)

障害児者の人権が生活のさまざまな場面で確立していくよう、人権研修および啓発活動や相談、モニター活動を行います。

モニター活動については、令和7年度より、地域活動支援センター精神作業所型を対象に加えたことによる活動の拡がりを継続してゆきます。

また、人権擁護委員会を再構築し、各事業所やモニター委員の意見も反映した研修等の拡充に取り組みます。

《内容》

事業名	内容	予算額	説明
啓発活動・相談活動		346千円	啓発活動(委員会・研修会)
障害者人権擁護委員会	障害者人権擁護委員会	98千円	
研修会	モニター向け研修会	248千円	
モニター活動		1,826千円	モニター委員による点検活動・報告等
モニター委員会	モニター委員会(研修含む)	28千円	
モニター活動経費	障害者地域活動ホーム、 地域活動支援センター作業所型(知的 障害・身体障害・精神障害) (計10か所)	839千円	
	グループホーム (25か所)	959千円	
計		2,172千円	

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
14 障害者地域作業所等賠償責任保険	1,344	1,344	0

(市補助金)

(事業目的)

地域活動支援センター事業作業所型等の管理責任に基づき、施設利用者及び第三者の死傷や器物損害等物的事故等が生じた場合の損害賠償を補償するため、賠償責任保険に加入し、運営の安定化を図ります。
併せて、看護師による医療的ケアのサービス業務を行っている地域活動ホーム及び地域活動支援センター作業所型については、その業務も補償の対象とします。

1 対象団体

No.	施設種別	施設数	通所者数(人)
1	地域活動支援センター事業 障害者地域作業所型	75	989
2	障害者地域活動ホーム	23	1,047
3	地域活動支援センター事業 精神障害者地域作業所型	61	1,086
4	地域活動支援センター 中途障害者地域活動センター型	18	400
	計	177	3,522

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
15 「セイフティーネットプロジェクト横浜」支援事業	1,260	1,470	△ 210

(市補助金、繰越金)

(事業目的)

「セイフティーネットプロジェクト横浜」が中心となり、障害のある人や家族、支援者と共に地域の方や地域生活に関わる機関への啓発活動を行い、障害のある人たちの地域生活を推進します。

1 コミュニケーションボード・カードの普及・啓発

(1) コミュニケーションボード・カードの周知と改訂

引き続きホームページやチラシ等を通して、障害団体や地域の関係機関に周知し、さらなる理解を求めます。

(2) お店用コミュニケーションボードの普及

令和7年度のお店用コミュニケーションボードの改訂に合わせ、一緒に配布するチラシの改訂を行います。

また、改訂したお店用コミュニケーションボードを多くの方に活用してもらう働きかけを検討し、配布していきます。

(3) 教育機関への働きかけ

学校の教員を対象に、自閉スペクトラム症や知的障害のある人とのコミュニケーションの特徴や支援ツールとしてのコミュニケーションボードの意義や使い方について理解を深める研修会を開催します。

2 災害時の障害者支援の充実

(1) 出前講座活動の推進

地域からの要請に応じて、関係機関と連携しながら、出前講座を実施します。そのため、地域に向けた講座開催のための広報や活動ホームや区社協に対し講師調整等の協力依頼を行います。

(2) 「黄色と緑のバンダナ」の取り組みの普及

障害等があり「配慮が必要」な人は「黄色」、「支援ができる」人は「緑色」のものを身に付けようという取り組みを様々な場面を通じて、障害団体や地域の方たちに引き続き周知し、理解を求めます。

3 広報の充実

「セイフティーネットプロジェクト横浜」独自のホームページを作成し、コミュニケーションボード・カードのダウンロードやオリジナルコミュニケーションボード作成アプリの掲載等を通じて、一層の普及・啓発を行います。

また、新たな啓発のツールとして動画の作成の検討を行います。

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
16 障害者団体部会	146	161	△15

(市社協会費)

(事業目的)

部会会議(年2回)を開催することで、団体間の連携を高め、部会組織の活性化を図ります。併せて、障害理解の促進に向けて、「障害と福祉のウェブマガジン With Me」の更新を行います。(再掲)

団体数 47団体(令和8年2月13日時点)

※事業名の通し番号の5～16の事業を実施するための人件費及び事務費

1 人件費 85,320千円

2 事務費 7,480千円

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
17 福祉バス運行事業	62,340	52,135	10,205

(市補助金、共同募金配分金)

(事業目的)

市内の障害児者団体・施設が、福祉向上や社会参加を目的とした研修会、レクリエーション等を実施する際に、福祉バス「あおぞら号」を運行します。

運行体制:車椅子での乗降が可能なリフト付大型バス2台、大型バス2台、小型リフトバス1台の計5台

(令和7年度見込み)

1 利用団体数 350団体

2 利用人数 8,750人

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
18 助成団体監査事業	17,022	0	17,022

(市委託料)

(事業目的)

地域活動支援センター及び機能強化型障害者地域活動ホームの運営指導、並びに地域訓練会の助成についての監査を横浜市より受託・実施し、事業者への適切な助言・指導を行い、利用者へのサービスの質の向上、団体の運営の健全化を進め、補助金の適正な運用、会計や労務、法人運営といった運営体制の強化を目的として行います。

1 監査対象

- ・地域活動支援センター障害者地域作業所型、機能強化型地域活動ホーム等を運営する法人を中心とした事業所
- ・障害児地域訓練会および障害児者家庭援護事業実施団体等、本会からの助成を受けている当事者団体

2 委託業務概要

- (1) 監査対象への事前調整
- (2) 監査当日の訪問による運営関連書類の確認を通じた講評、指摘
- (3) 監査後の報告書の作成および事業者並びに団体に対する改善報告の提出依頼および受理
- (4) 監査を通じた横浜市健康福祉局やこども青少年局、障害者支援センター等所管課への改善共有

3 監査体制

- (1) 外部監査員(税理士・社会保険労務士)
 - (2) 障害者支援センター 事業推進課 監査担当課長 および常勤職員
- ※外部監査員は事業所を対象とした監査にのみ同行

4 監査件数

監査対象	件数
機能強化型地域活動ホーム	10か所
地域活動支援センター事業障害者地域作業所型	40か所
地域活動支援センター事業精神障害者地域作業所型	20か所
横浜市心身障害児地域訓練会	15か所
障害児者家庭援護事業団体	2か所
合計	87か所

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
19 障害者後見的支援制度	214,215	212,491	1,724

(市委託料)

(事業目的)

「横浜市障害者後見的支援制度」における横浜市障害者後見的支援推進法人の業務を横浜市より受託・実施し、市域全体におけるこの制度の推進・運用に関する総合調整を図ります。

1 横浜市障害者後見的支援制度の概要

障害者が地域で安心して暮らすために必要な、身近な地域での見守り体制づくりを行うとともに、本人の希望と目標に基づく生活をめざすための支援等を行います。

【対象者】横浜市内に居住する後見的支援を必要とする18歳以上の障害のある人

2 横浜市障害者後見的支援推進法人の業務

(1)「あんしんマネジャー」の雇用、人事・労務管理、研修等

(2)制度についての全市的な広報・周知

(3)制度全体の推進・調整

運営法人、横浜市との連携を密にするため、会議等を開催し、情報交換や課題の共有、調整を行います。また、区社協や地域ケアプラザ等との連携を通して制度周知等を行い、登録者一人一人の希望に基づいた見守り体制づくりと障害者の権利擁護の推進を図ります。

(4)あんしんノート書き方講座の実施

(5)その他後見的支援の推進に必要な業務

3 各区あんしんマネジャーの業務

(1)登録者の見守り体制の構築

(2)後見的支援計画の策定

(3)相談支援機関等への橋渡し・本人の視点に立った発言

(4)将来に対する希望や不安、ライフプランに関する相談対応 等

4 横浜市あんしんマネジャーの業務

(1)市内全体の制度の推進

(2)各区あんしんマネジャーの支援 等

5 各区支援室

区	支援室名	区	支援室名
鶴見	障がい者後見的支援室 りんくるつるみ	金沢	金沢区障害者後見的支援室 帆海(ほなみ)
神奈川	神奈川区障がい者後見的支援室 おんぶ	港北	さぼーと・うみ
西	さぼーと・ねくさす	緑	緑区障がい者後見的支援室 みどりのこかげ
南	さぼーと・なみ	青葉	青葉区障がい者後見的支援室ほっぷ
中	中区後見的支援室らるご	都筑	つづき障害者後見的支援センター リリーフ・ネット
港南	障害者後見的支援室すまいる港南	戸塚	後見的支援センターとつかエコー
保土ケ谷	障がい者後見的支援室 ほどがやゆめあん	栄	栄区後見的支援室とんぼ
旭	旭区障害者後見的支援室 絆	泉	泉区障がい者後見的支援室しーど
磯子	磯子区障害者後見的支援室 コネクト・ハート	瀬谷	せや障がい者後見的支援室まんまる座

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
20 横浜市障害者共同受注総合センター	24,174	23,365	809

(市委託料)

市内障害者施設の作業種別等受注に関する情報を集約し、企業等からの障害者施設への受注促進や自主製品の販路拡大等にかかる包括的なコーディネートを行う「よこはま障害者共同受注総合センター」を運営します。

(業務内容)

1 情報把握・発信

障害者団体とのネットワークや運営支援で培ってきたノウハウを生かし、登録事業所の作業内容や企業等からの受注状況等の把握を行います。

(登録事業所数 目標数:525か所)

令和7年度に横浜市の仕様に合わせ更新したホームページにて、調整した依頼の実績等を公開し、更なる情報の発信を行います。

2 受注調整・販路開拓

受注センター連絡会で整備した受注ルールを基に受注調整を行います。

また、販路拡大事業(ハートメイド)との連携により、自主製品の販路開拓に努めます。

(受注成立件数 目標数:460件)

3 研修会の開催

登録事業所を対象とした研修会を開催し、作業受注及び自主製品の生産活動に関連する知識・技術・意識の向上を支援します。

(研修会の開催 開催予定:年2回)

4 連絡会の運営

市内障害者団体代表者及び登録事業所代表者等からなる連絡会を運営し、受注センター運営上の課題を協議します。

(連絡会の開催 開催予定:年2回)

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
21 移動情報センター運営事業	182,336	168,088	14,248

(市委託料、繰越金)

(事業目的)

移動情報センターの運営について18区社協に委託し、障害者の移動に関する相談対応を推進します。また、事業の現状や課題について集約・分析を行い、横浜市と連携しながら、より相談しやすい仕組みの構築や移動支援の推進に向けた検討を行います。

1 各区社協移動情報センターの運営支援

市内18区社協と業務委託契約を締結し、各区社協で移動情報センターを設置・運営します。移動情報センターでは、移動についての支援制度の案内や相談調整及び情報収集・発信、人材発掘・育成等を行います。

また事業が円滑に運営できるよう、各区推進会議に参加するほか、情報発信・共有、研修実施、担当者会議・コーディネーター連絡会の開催等を通じて支援を行い、スキルの向上と相談・調整機能の強化を図ります。

(単位：千円)

事業名	R8年度予算額	R7年度予算額	増△減
22 横浜あゆみ荘事業	262,291	258,260	4,031

(市指定管理料、利用料収入他)

- ・障害者とその家族等が、安心して安全に利用できる施設運営に取り組みます。
- ・利用者満足度の向上、利用者数の更なる増加に向けては、障害の個別の状況に応じたきめ細やかな対応を行うとともに、お客様アンケート等を基にサービスの向上に向けた取組を職場全体で推進します。
- ・障害者の社会参加や余暇支援のための研修及び自主企画事業等を実施します。

1. 営業日数及び利用料収入見込

営業日数	利用料
340日 (340日)	18,797千円 (18,519千円)

()内はR7年度

ア 宿泊・研修事業

(ア) 利用者が安心してあゆみ荘で過ごせるよう、個別の障害の状況を丁寧に確認し必要な準備、対応を行います。

(イ) 横浜あゆみ荘運営委員会や利用者アンケート等のご意見・ご要望等を踏まえて運営面の改善やサービス向上に取り組みます。

(ウ) 衛生管理、アレルギー対応等をレストラン事業者と共有し、安全な食事の提供に努めます。また、サービスの更なる向上、運営の安定化に向けて、レストラン事業者と改善策を検討します。

イ 自主企画事業

(ア) 各種講師、インストラクター、障害児者団体等と連携し、障害者の余暇活動の支援につながるイベントを実施します。

(イ) 障害者の社会参加、地域住民等への障害理解の啓発を目的に、都筑区障害者事業所ネットワークでつなぎつづきと連携した地域交流イベント、都筑ふれあいの丘まつりでの当事者による活動発表、あゆみ荘ロビーでの障害者事業所の自主製品販売を実施します。

令和8年度 障害者支援センター予算一覧

NO	項 目	財 源	令和8年度	令和7年度	差 引	備 考
1	障害児地域訓練会運営費助成事業	市補助金	71,648,000	73,996,000	△ 2,348,000	
2	障害者地域活動ホーム事業	市補助金	593,507,000	541,753,000	51,754,000	
3	地域活動支援センター事業 障害者地域作業所型運営費等助成事業	市補助金	1,725,273,000	1,667,029,000	58,244,000	
4	地域活動支援センター事業 精神障害者地域作業所型助成事業	市補助金	1,328,502,000	1,283,634,000	44,868,000	
	在宅障害者援護事業		126,921,000	134,656,000	△ 9,422,000	
5	販 路 拡 大 事 業	市補助金 県上金他	5,393,000	6,251,000	△ 858,000	
6	在宅障害児者家庭援護事業	市補助金	2,635,000	2,635,000	0	
7	研 修 事 業	市補助金	1,697,000	1,454,000	243,000	
8	障害者福祉団体活動支援事業	市補助金	3,000,000	3,000,000	0	
	地 域 活 動 支 援 事 業		12,732,000	12,167,000	565,000	
	巡 回 相 談	市補助金	7,300,000	6,735,000	565,000	
	訪 問 健 康 相 談	市補助金	3,350,000	3,350,000	0	
	グ ル ー プ ホ ー ム 支 援	市補助金	1,692,000	1,692,000	0	
	当事者発・地域啓発事業	市補助金	390,000	390,000	0	
10	療育交流活動事業	市補助金	614,000	614,000	0	
11	啓 発 活 動 事 業	市補助金 基金県金他	2,566,000	2,309,000	257,000	
12	調 査 研 究 事 業	市補助金	708,000	479,000	229,000	
13	障害者人権擁護事業	市補助金	2,172,000	2,767,000	△ 595,000	
14	助成団体監査事業	市補助金	0	6,000,000	△ 6,000,000	
15	障害者地域作業所等賠償責任保険	市補助金	1,344,000	1,344,000	0	
16	「セイフティーネット プロジェクト横浜」支援事業	市補助金	1,260,000	1,470,000	△ 210,000	
	事 務 費	市補助金	7,480,000	6,975,000	505,000	
	人 件 費	市補助金	85,320,000	88,878,000	△ 3,558,000	
17	障害者団体部会	市社協会費	146,000	161,000	△ 15,000	
18	福祉バス運行事業	市補助金 共同募金配分金	62,340,000	52,135,000	10,205,000	
19	障害者後見の支援事業	市委託料	214,215,000	212,491,000	1,724,000	
20	よこはま障害者共同受注総合センター事業	市委託料	24,174,000	23,365,000	809,000	
21	移動情報センター運営事業	市委託料	182,336,000	168,088,000	14,248,000	
22	助成団体監査事業	市委託料	17,022,000	0	17,022,000	
23	横浜あゆみ荘事業	市指定管理料 利用料収入他	262,291,000	258,260,000	4,031,000	
24	寄付配分事業	青島銀行	0	1,765,000	△ 1,765,000	
	合 計		4,608,375,000	4,417,333,000	189,355,000	